

Date:2016/3/3

## 安全施工研究発表会を開催しました

平成28年2月26日(金)、利賀ダム工事事務所安全対策協議会は、今回で9回目となる「平成27年度利賀ダム工事事務所安全対策協議会 安全施工研究発表会」を開催しました。

参加者は、砺波労働基準監督署、工事受注者8社、コンサルタント業務受注者8社、事務所職員等の計40名でした。

はじめに、砺波労働基準監督署の広島 監督・安衛課長から『労働基準行政から見た建設業の現状』と題したご講話をいただき、参加者全員が労働災害防止の認識を新たにしました。

その後、各工事が取り組んだ「安全管理」、「施工技術」等について7題の報文発表を行いました。

※発表の7題は次のとおり(敬称略)

●最優秀賞(1題)

課題名:アンカーの施工管理について

発表者:(株)藤井組 監理技術者 石崎 知則

●優秀賞(2題)

課題名:落体実験による安全訓練

発表者:川田建設(株) 現場代理人 佐伯 潤

課題名:法面対策工における現場環境に即した計画提案について

発表者:米澤工業(株) 現場代理人 須河 永喜



計40名の参加による熱心な聴講



表彰式



記念撮影(発表者及び安全対策協議会役員)

## ●その他(4題)

課題名:維持修繕工事における施工計画

発表者:中山工業(株) 現場代理人 新田 信彦

課題名:鋼桥架設における安全対策と今年の架設計画について

発表者:MMB・宮地JV 現場代理人 宮永 満

課題名:より安全な桁架設の為の工夫

発表者:佐藤鉄工(株) 現場代理人 青木 寛信

課題名:下り4%勾配での送出架設における安全対策について

発表者:川田工業(株) 監理技術者 仲谷 洋



報文発表の様子

いずれも現場の課題に対し真摯に取り組んでいることが伺えるもので、その優劣をつけがたいものばかりでありましたが、厳正な審査の結果、最優秀賞1題、優秀賞2題を表彰しました。

発表された7題は、どれもが厳しい現場条件の中で、適正な安全施工を進めるために知恵を絞り工夫された取り組みであり、独創性、有益性の観点で、今後につながる有効な内容が多く、高く評価されるものであり、大いに参考となる発表でした。

報文を作成・発表していただいた皆様方に、感謝申し上げます。



話題提供



積極的に発言する参加者

報文審査の待ち時間に利賀ダム工事事務所からの話題提供として、『広報活動の取り組み』について報告いたしました。また、広報活動の一環で行っている「建設界の担い手確保に向けた現場見学会」や「利賀ダム工事事務所ホームページの改良」について、参加者と建設的な意見交換を行いました。

今後もこれらの広報活動を積極的に実施し、建設界の担い手確保やホームページの充実化を図ってまいります。